岩盤ボーリング柱状図

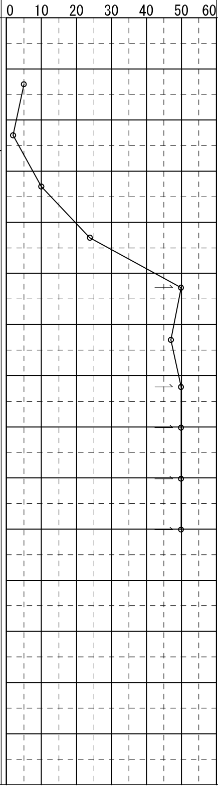
調査名	二級河川　御手洗川水系　御手洗川支川（６７１６）　通常砂防事業に伴う測量設計業務
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.4	調査位置	広島県廿日市市宮内地内	北緯	34°20'10.0824"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所	調査期間	令和5年 9月 8日～ 令和5年 9月11日	東経	132°18'09.4593"
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	TP 78.63m	角度	180° 上 / 下 0°（90°）	方向	北0° 東90° 南180° 西270°
総削孔長	10.00m	地盤勾配	21° 水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機 東邦DO-D / エンジン ヤンマー TF-90M / ポンプ 東邦BG-3C

標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名	色調	記事
76.18	2.45	粘土混じり礫混じり砂	褐灰～暗褐灰	盛土層に該当。マサ土主体で粗砂～細砂が混在し、全体に細粒分を含有する。礫はφ2～5mmのものが多く、最大礫径はφ40mm。含水量は小
75.23	3.40	粘土混じり礫混じり砂	灰褐	土石流堆積物に該当。マサ土主体で粗砂～細砂が混在する。礫はφ2～5mmのものが主体で最大礫径はφ50mm。所々に細粒分が混在する。
74.13	4.50	強風化花崗岩	黄赤褐	強風化花崗岩に該当。シルト～砂状コアとして採取。岩組織はほとんど残っておらず、指圧によって容易に砂状に崩れる。節理も不明瞭。岩級区分はDL級で土軟硬区分は土砂。
72.03	6.60	風化花崗岩	赤褐灰	風化花崗岩に該当。砂礫状コアとして採取。岩組織は所々で残っているが、節理は不明瞭。指圧によって容易にマサ土に崩れる。岩級区分はDM級。土軟硬区分は土砂に該当。
71.13	7.50	風化花崗岩	赤褐灰	風化花崗岩に該当。砂礫状コアとして採取。岩組織が残っているが節理は不明瞭。指圧によって崩れる。岩級区分はDH級で土軟硬区分は軟岩に相当する。
68.63	10.00	風化花崗岩	黄褐灰～赤褐灰	風化花崗岩に該当。砂礫状～岩片状コアとして採取。指圧によって崩れるが上位層と比較して、全体的に岩組織を残しており、節理も認められる。節理勾配は80～90°のものが多い。岩級区分はDH級で土軟硬区分は軟岩I

孔内水位／測定月日：9/11 2.60

標準貫入試験



N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量
5	1.15～1.45	5/300	
2	2.15～2.45	2/300	
10	3.15～3.45	10/300	
24	4.15～4.45	24/300	
50以上	5.15～5.41	50/260	260
47	6.15～6.45	47/300	
50以上	7.15～7.29	50/140	140
50以上	8.00～8.03	50/30	30
50以上	9.00～9.03	50/30	30
50以上	10.00～10.02	50/20	20

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
9/8	57	66/ケーシング	打込み/打込みシュー	0	0	0	W1/0	0
9/11	100	66/ケーシング	W/M	10 / 20 / 30	150 / 150 / 150	0	W9/20	20